

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	エントラータ		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 3月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団活動、個別支援にて、ひとり一人のニーズを理解し様々な支援を行なっている。	感覚統合、ビジョントレーニング、SST等多岐にわたって一人ひとりのニーズを理解し支援の設定をしている。	外部研修等を今より取り入れ、一つ一つの専門性を高める。
2	多様な連絡手段を活用し、保護者との関係性がよく協力を得られやすい。	日々のやり取りの中で、頂いた要望や不安について迅速に対応するように心がけ、モニタリングやLINE連絡帳を使って保護者が困っていることや不安に思っていることなどに対応し、保護者の不安などが少しでも軽減できるように心がけています。	保護者アンケートや面談などを通じて、より具体的なお意見を定期的に収集し、事業者運営や支援内容に反映させていきます。
3	就学児とも合同で集団プログラムを行ない、様々な年齢層と関わる環境を整えている。	危険がないか、リスクマネジメントを必ず行ない、チームやペア等を織り交ぜ社会性を高めるプログラムを提供している。	誰もが楽しめるように、支援員同士会議を詰め質を高める。また、危険性の低い玩具を揃え、プログラムに取り入れる。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方との交流に十分に取り組めていない。	利用児童の迎えがある保育園や小学校の送迎時に担任の先生と話す機会はあるがそれだけに留まっている。	事業所の取り組みや子どもたちの特性を理解していただけるような説明や情報発信を行い、少しずつ交流の機会を広げていく。
2	保護者への非常時、災害時、避難訓練などの周知不足。	非常時、災害時、及び年に2度避難訓練を行っているが、情報発信が不足している。	連絡帳での周知、ホームページ、インスタグラムでの情報発信をしていく
3	保護者会を設ける機会が少ない。	年に数回は保護者交流会を設定して、参加しやすいようにしていく。	保護者会だけでなく、勉強会も行っていきたい。